

平成 30 年 8 月 吉日

会員各位

一般社団法人宮城県作業療法士会

会長 道又顕

地域支援部長 小野寺泰弘

認知症の人の生活支援参画推進チーム班長 齋藤貴子

一般社団法人 宮城県作業療法士会地域支援部 認知症の人の生活支援参画推進チーム主催

「第 3 回認知症アップデート研修会」のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび当士会 企画管理局 地域支援部 認知症の人の生活支援参画推進チームでは、上記研修会を開催いたします。

現在、日本においては団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年を目途に「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来る」地域包括ケアシステムの構築が進められております。急速な高齢化に伴い認知症高齢者の増加も見込まれており、宮城県においても各市町村で「安心して生活が続けられる地域づくり」に向けた取り組みが開始されています。当士会宛にも様々な派遣依頼が入ってきており、今後ますます増加することが予想されます。

本研修会は、新オレンジプラン（認知症施策推進総合戦略）の 7 つの柱を理解し、地域包括ケアシステムに貢献できる作業療法士の育成を目的に、協会で推奨している「認知症アップデート研修会（昨年度仙台市を会場に 2 回開催）」と県士会で設定している研修会システムの一環として行うものです。今回は、認知症の基礎的知識や情報を盛り込んだ内容の〈基礎編〉、事例検討を中心とした〈応用編〉の二部構成で行います。尚、この研修会体系の受講状況を当士会の一つの派遣指標として活用させて頂く予定です。より多くの県士会員皆様にご参加頂きたく、何卒宜しくお願い致します。

敬具

記

日程：平成 30 年 9 月 30 日（日）

〈基礎編〉 10：00～14：30（受付 9：30～10：00）〈応用編〉 14：40～17：00（受付 14：10～14：40）

会場：大崎市市民活動サポートセンター 大会議室

〈〒989-6162 宮城県大崎市古川駅前大通 1-5-18 ふるさとプラザ（最寄り駅：JR 古川駅）

※近隣には駐車場もございますが有料となっております。

講師：〈基礎編〉山田孝弘（西仙台病院）、中里和史（仙台クローバークリニック）、三浦慶司（齋藤病院）、

白戸千愛（特別養護老人ホーム和風園）〈応用編〉齋藤貴子（介護老人保健施設希望の杜）

講義内容：〈基礎編〉世界及び日本における認知症の課題、認知症の障害の本質と認知症原因疾患への理解、行動・心理症状の原因・背景及び障害構造の理解、認知症におけるアセスメントとマネジメント 〈応用編〉事例検討（グループワーク）、宮城県の認知症施策や取り組みについて

参加対象：宮城県作業療法士会会員（30 名）

参加費：1 日参加 4000 円、応用編のみ 1500 円

※原則 1 日参加とします。平成 29 年 5 月 20 日、平成 30 年 1 月 30 日の研修会で基礎編を

既に受講されている方のみ、応用編のみの参加が可能です。

単位認定：基礎ポイント 2P、県士会より受講修了証発行

申込み方法：県士会 HP の web 申し込みよりお申し込みください。（締切：平成 30 年 9 月 21 日（金））

注意事項：○原則1日参加とします。基礎編を受講されていない方は応用編の受講はできません。

※平成29年5月20日に開催いたしました研修会は「基礎編」にあたり、受講された方に発行した修了証は、「日本作業療法士協会推奨のアップデート研修」の修了証となります。

「宮城県作業療法士会 企画管理局 地域支援部 研修会システム ⑤ 認知症の人の生活支援人材育成」は基礎編に加え応用編の受講をもって修了となります。平成29年5月20日の研修会を受講された方は、県士会への依頼に対する会員の派遣条件として「応用編」の受講が必要となりますので、今回、もしくは冬季開催を予定している「応用編」の受講をお願い致します。

○午前の基礎編受講をご希望されている方で、やむを得ず午後の応用編の受講が出来ない方は下記の問合先へご連絡ください（尚、お申込みは下記の問合先からは出来ませんのでご注意ください）。

○定員となり次第締め切らせていただきます。連絡がなければ参加可能です。

○職場宛出張依頼の公文書が必要な場合は、申込の『備考』欄に「職場宛出張依頼書発行希望」と記載し、公文書宛名、郵送先住所をご記載の上、**9月 日（ ）までに**、お申し込みください。

問合先：東北福祉大学 伊藤明海 (akemi-i@tfu-mail.tfu.ac.jp) ※こちらからはお申込みできません。